

2025年7月22日 実習生の松尾君が担当患者様のレジュメ発表を行いました。題名は「4点杖を用いた歩行動作において右初期接地がゆっくりと生じ右立脚相で身体の前方移動と右側方移動が乏しいことでスピードの低下を認めた右人工股関節全置換術後の一症例」です。

発表前や発表中の松尾君は、普段通りの落ち着いた雰囲気で、担当患者様の動作分析に基づいて立てた仮説や統合と解釈を、参加者にしっかりと伝えていました。バイザーの私から言うのもなんですが、発表内容はとても興味深く、参加者は熱心に聞いていました。発表後には、参加者から松尾君の今後の成長につながる助言があり、彼は真剣な表情でそれを受け止めていました。また、白熱した議論も交わされる中で、松尾君は自分の考えをしっかりと述べており、発表後には充実感に満ちた表情が見られました。

今後もリハビリテーション科では学生指導に力を入れ、『治せる理学療法士』の育成に努めてまいります。

(文責 藤原 聰)

【松尾君のレジュメ発表風景】

